

# 秋の虫調査会

ジュンサイを残そう市民の会  
2022年10月30日(日)

例年一般の参加者を募集して『虫観察会』を実施していますが、今年には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

講師 日本甲虫学会会員 宮内 博至氏  
(ジュンサイを残そう市民の会会員)

## 確認された主な昆虫

調査場所：じゅん菜池緑地 自然環境ゾーン 管理地内  
2022年10月30日10時～12時 参加者20名

1. ヨモギハムシ
2. コバネイナゴ
3. ヤチスズ
4. オンブバッタ
5. ハナアブの仲間
6. オカメコオロギ類
7. ツツレサセコオロギ
8. アオマツムシ
9. ケアリ属の仲間
10. マルカメムシ
11. オオホシカメムシ
12. マツモムシ
13. ツバメエダシャクの仲間 (Ourapteryx属の一種)
14. トホシテントウ(成虫・幼虫)
15. オオカマキリ
16. イチモンジセセリ
17. ツマグロオオヨコバイ
18. オオホシカメムシ
19. キタキチョウ
20. ハエの仲間
21. アキアカネ(雌)
22. クビキリギス



太字は秋の鳴く虫

- 昆虫以外
- ミスジマイマイ
- ササクモ(幼体)
- イオウイロハシリグモ(幼体)
- マミジロハエトリ



子供たちが池の中まで虫探し



ビーティングネットで虫を探す



冬の虫調査会に向けて、「こも巻き」をしました



講師に丁寧な解説をして頂き、多様な種類の虫がいることを再確認しました

# 確認された虫類写真集



マツモムシ

水面で背泳ぎ。  
自然豊かな水辺が大いに減った市川市では貴重な発見  
(※写真は2022年1月9日 千葉県鴨川市標本)



ヨモギハムシ

秋に産卵し、卵～幼虫で冬を越す。  
初夏に羽化後、休眠に入り、秋に現れる



ミスジマイマイ



アキアカネ



ツバメエダシャクのなかま  
(Ourapteryx属の一種)



成虫

(※2022年9月23日撮影)



幼虫



トホシテントウ

カラスウリの葉を丸く傷つけてから食べる(トレンチ行動)



ヤチスズ

湿地に生息。  
名前のヤチは生息場所の谷地(ヤチ)が由来?



コバネイナゴ



後翅が腹端と同程度か短い。(長い場合はハネナガイナゴの可能性あり。)



オオカマキリ



後翅の色が濃い。  
(類似種のチョウセンカマキリは後翅の色が薄い)